

4 歳児／5 歳児クラス <7月 ムンク「叫び」>



やさしいK-ART

テーマ《ムンク「叫び」ワーク》

ムンクが感じた激しいオレンジ色の空を
キットパスで表現しましょう！

<テーマを決める>

「怒ったとき、うれしいとき、悲しいとき、びっくりしたとき、みんなの顔は変わるよね。先生やお友だちの顔を見て、『うれしそう！』『なんだか困っているのかな？』って思うこともあるよね。

ムンクが描いた《叫び》も、大きな口を開けた人がいて題名も「叫び」だから、人が『叫んでいる絵』だと思われることが多いけれど、実は自然の中で感じた驚きや不安な気持ちを表した作品だと言われているんだ。

『この人はどんな気持ちだったんだろう？』

『ぼくだったら、どんな顔になるかな？』

表情や色、線から気持ちを想像しながら、作品づくりに取り組んでみよう。」

<問いを考える>

- ・この人はどんな気持ちに見える？ ・どうしてそう思ったの？
- ・顔のどこを見てそう思った？ ・自分がびっくりしたときはどんな顔？
- ・もしうれしかったら、この絵はどんな色になるかな？

<環境をデザインする>

子どもたちが作品の「気持ち」を表情や色、線から感じ取れるように、ムンク《叫び》の空・橋・顔のパーツを分けて準備した。空の背景は黒画用紙を用いることで、キットパスの鮮やかな色が際立ち、ムンクが描いた夕焼けの迫力や不安な雰囲気を表現しやすくした。

顔や橋のパーツを貼り合わせる構成にすることで、細かな描画に時間を取られず、「どんな気持ちに見えるだろう」「どんな色や線にすると気持ちが伝わるだろう」という対話や表現に集中できる環境を整えたい。

1. フレーム
2. 空パーツ
3. 橋パーツ（貼ります）
4. 顔パーツ（貼ります）
5. 見本（各テーブル1枚程度）
6. 黒画用紙1枚
7. キットパス
8. ベビーパウダー
9. スティック糊
10. 鉛筆



4歳児クラス <7月 ムンク「叫び」>実施報告



7/15(水) 年中：11名《ムンク「叫び」》

今回は、ムンクの『叫び』の見本を見ながら制作を行いました。作品を見た子供たちからは「見たことある！」という声や、「こんな顔してる！」と作品の表情を真似している様子も。「この絵はムンクが驚いたり、不安だなという気持ちで描いたかもしれない」と話をすると作品に興味を持って耳を傾ける姿が見られました。また、「同じ景色を見ても、人によって見え方や感じ方はそれぞれ違うんだよ」ということも伝え、一つの作品にもさまざまな捉え方があることに触れました。制作では、話をしっかりと聞いて見本を観察。「赤がたくさんある〜!」「緑色もあるね!」とどんどん塗る子、「ここは何色かな?」とじっくり塗り進める子などさまざま。それぞれが感じた色を選んで塗り、指でキットパスを伸ばしながら空や海を表現していきました。顔を描く場面では、自分でも表情を作りながら「叫び」の特徴を捉えて描くことができました。最後みんな揃っての写真撮影で、自然と「叫び」の表情になりました。

5歳児クラス <7月 ムンク「叫び」>実施報告



7/15 年長：9名《ムンク「叫び」》

今回は、ムンクの『叫び』の見本を見ながら制作を行いました。作品を見た子供たちからは「見たことある！」という声が多かったです。「この絵はムンクが驚いたり、不安だなという気持ちで描いたかもしれない」と話をすると作品に興味を持って耳を傾ける姿が見られました。また、「同じ景色を見ても、人によって見え方や感じ方はそれぞれ違うんだよ」ということも伝え、一つの作品にもさまざまな捉え方があることに触れました。

制作では、空と海を分ける線をしっかりと描け、見本を観察しながら色塗り。「これは黄色だね！」「水色をここに塗りたいなあ〜」とそれぞれが感じた色を選んで塗り、色を重ねたり、指でキットパスを伸ばしながら表現するなど、根気強く時間をかけて空を塗りました。顔を描く場面では、自分でも表情を作りながら「叫び」の特徴を捉えて描くことができました。

自分の描いた顔が面白くてずっと笑っている子もいて、つられて笑ってしまいました。最後の写真撮影もしっかり撮れました。